

令和3年度 第1回甲斐市中小企業・小規模企業振興会議 会議録

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面により開催)

1 甲斐市中小企業・小規模企業振興会議委員

藤田泰一、中村己喜雄、清水保、功刀千斗夫、山本藤雄、松本栄一、三村一郎、水上信哉、菊原賢一、波羅秀樹、宮川隆、古屋佳男、田中陽子、小澤明、梅原剛

2 議 事

1 令和2年度 実績報告について

委員からの主な意見

- ・無利息のコロナ融資があったことから小口資金の利用が0件だったのか。今後利用促進していくには、甲府市の小口資金のように利子補給を行い、実質利率を引き下げるようにしたらどうか。
- ・小規模企業者小口資金融資制度は実績が0件ですが、周知に問題があるのでしょうか。
- ・小口資金融資より、小規模改善資金の方が利用しやすいのでしょうか。
- ・コロナ禍での事業運営大変お疲れさまでした。先の見えない状況ではありますが、引き続きご指導お願い致します。
- ・制度があることが大事だと思います。今後の利用が期待できると思います。
- ・創業支援事業について、創業融資相談件数が多いので金融機関との連携が必要なのではないでしょうか。
- ・商工会のWEBセミナー等、時期的に良い方法ではないでしょうか。

事務局より

小口資金制度については、新型コロナウイルス感染症対策として、利子補給・保証料補助の拡大を行いました。3年間実質無利子・保証料補助制度があるコロナ対策融資が開始したため、そちらの方に利用が集中したのではないかと思います。

また、事業者が利用しやすいよう、緊急資金の利率を1.4%に引き下げましたので、引き続き周知に尽力いたします。

創業支援事業の内容等につきましては、甲斐市経営革新等認定支援機関連絡会において、各金融機関等の皆様と情報共有を行っております。

2 甲斐市小規模企業者持続化補助金について

委員からの主な意見

- ・令和元年度に新設され、2年目の事業であるが、一定の需要があり小規模企業者の持続化に貢献していることが、内容からも理解できる。
- ・地域金融機関としては本補助金の周知を行い、有効的に活用して小規模企業者を引き続き支援していきたいと思います。
- ・もし次回があったら挑戦したいです。
- ・採択率は高くてよかった。引き続きこの補助金がさまざまな業種で広がりを見せていけばよい。
- ・2年目の本年はさらに多くの申請を頂き、小規模事業者の皆様浸透してきていると思います。引き続き事業の継続と一層の充実についてお願いいたします。
- ・事業者支援の観点から、本年度に引き続き、来年度以降の取り扱いも検討していただきたいと思います。
- ・継続が大事だと思います。
- ・市の予算の上限迄補助金活用実績となっているので、政策として成功していると思われる。
- ・幅広い事業が採択されており、小規模企業者の支援が図られたと考えます。
- ・引き続き小規模企業者持続化支援のための補助利用拡大と対応期間延長は必要と考えます。
- ・利用者にアンケートを行うなど、利用者のニーズを把握することをお願いします。
- ・有難い補助金制度だと思います。申請後、すみやかに決済されるのでしょうか。
- ・国の持続化補助金だけでは足りない企業にも上乘せして補助をしているのでしょうか。補助を受けた後の事業の状況を知りたい。

事務局より

補助金の支払いは、事業終了後に実績報告書を提出していただき、精算払いを行います。昨年度は年度内に支払いを完了しました。

国や県も同様の制度がありますが、それらの補助を受けた方は重複して受けることはできません。また、国や県の制度では「販路開拓」に関連する事業が対象となっていますが、甲斐市の持続化補助金では、事業者の皆様幅広く活用していただけるよう、それ以外の事業でも補助対象となっております。

本事業につきましては、昨年度開始したものであるため、より良い制度にしていくために尽力いたします。

3 令和2年度 主な新型コロナウイルス対策支援事業の実績について

委員からの主な意見

- ・コロナ禍の中、99%の使用があり、市内業者の経済対策につながっていると思います。
- ・小売業、飲食業で約98%の割合で利用、その他で1%と、消費者は生活の為に利用したと思われる。
- ・商品券の給付の目的は、地元小売店を少しでも多く利用してもらわなければ活性化にはならないと思います。小規模店と大型店の換金額はどうでしょうか。小売業の利用額のうち大型店の金額を表示してほしい。
- ・元気甲斐プレミアム付商品券は市の理解を頂き地域小売店等での販売を可能として頂いたことで、商品券の流通ばかりではなく、お客様がお店に行きたくて頂くきっかけができ、ありがたかったです。
- ・元気甲斐商品券事業 市民及び事業者にとっても喜ばれ、実績面から経済活性化につながったと思います。
- ・商品券事業は、使用率が高く良かったと思う。
- ・コロナ対策支援事業では、やはり飲食、観光事業者が非常に被害を被っているので飲食業の利用率が低いことが気になります。
- ・市民全員に給付した「元気甲斐商品券事業」では、市内店舗での利用に限られた事業であったが、使用率の高さから当初の目的どおり、市民生活の下支え及び地域経済の活性化が、十分図られたと考えます。

- ・給付金はコロナ感染症で疲弊した企業に役立っていると思うが、一回だけではなく、継続した支援も行ってもらいたい。
- ・税金等の支払い時にとっても助けられました。飲食店の売上減少はまだまだ続きそうですが、市の支援金で力づけられました。
- ・甲斐市事業継続支援給付金について、受給できることを知らない事業者が目立った。周知方法など検討頂く様今後の材料として欲しい。

- ・市内の中小企業にとって活性化される事業で良いと思います。
- ・県制度融資にかかるもの・甲斐市事業継続支援給付事業 実績面から、事業者に対して非常に大きな支援が図られたと考えます。

4 令和3年度 新型コロナウイルス対策支援事業について

委員からの主な意見

- ・元気甲斐プレミアム付商品券について、利用した際、事業主からこの時期にとっても助かる事業であるため、第2弾をお願いする旨、話がありました。検討をお願いします。
- ・元気甲斐プレミアム付商品券は市内の経済の活性化に大いに貢献出来ると考える。市民からも好評だったことから第2弾も検討したらどうか。
- ・商品券の利用は思ったより多いです。今は感染者増で来客が減少していますが、12月まで期間があるのでこれからが楽しみです。
- ・3千円のプレミアム付は魅力があり、弊社でも販売店をやったが、1千冊が2日で完売となった。7月より使用されているが、あまり弊社での利用は期待ほどではない。やはり小売、飲食での利用が多いのではないか。
- ・プレミアム付商品券の内訳が大型店をメインになっていた。地元小売店の売り上げは少々です。コロナで大変な業種を利用できる専用券を発行してほしい。
- ・元気甲斐プレミアム付商品券 商品券販売状況から、市民にとってとても喜ばれたものと思います。今後、事業者にとって大きな売上貢献につながると考えます。
- ・元気甲斐プレミアムは、好評で良かったと思う。
- ・前項にも記載しましたが、飲食、観光事業が際立って低迷しているので、新型コロナウイルスの感染率が下がったら何らかの支援策が必要だと考えます。
- ・元気甲斐プレミアム付商品券は、1万円に対しプラス3万円のプレミアムが非常に魅力的であると考えます。また、営業時間短縮要請協力金交付事業でも、県の事業に上乘せしてもらえることは、時間短縮を行っている事業者から非常に有難いと喜ばれています。
- ・新型コロナウイルス対策支援事業において当庫がお手伝いできることは引き続き前向きにお受けしますので依頼いただくと幸いです。引き続き地域金融機関として、事業者に対しモニタリング、経営課題の相談解決のための伴走支援を行い、中小小規模企業の「企業価値の向上」と「企業価値の毀損防止」に資する支援に努めてまいります。
- ・新型コロナウイルスの蔓延の終息を願っています。
- ・知事の飲食店等へ休業要請が発出されることとなり、当地域事業者にも多大な影響が出るのが予想されます。甲斐市としても令和2年度の時短協力金の支援など検討頂きたいと思います。
- ・まん延防止にともなう影響先について支援をお願いしたい。

事務局より

昨年度実施した「元気甲斐商品券」については、使用店舗について制限を設けなかったため、大型店に集中しました。そのため、今年度実施しています「元気甲斐プレミアム付商品券」は、全店共通券・小規模店専用券の2種類を作成し、使える店舗を制限いたしました。

現在も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いているため、更なる事業者支援については、財政当局とも協議しながら検討していきたいと考えております。

その他

委員からの主な意見

・甲斐市版ものづくり補助金の創設について

昨今の小規模事業者が置かれている環境は、社会経済の変化やコロナウイルスなど非常に厳しい経営環境にある。このような中でも小規模事業者は、革新的サービス開発、試作品開発、生産プロセスの改善を行うための設備投資等を行っていかねばならない。については、社会経済の変化に対応したビジネスモデルへの転換に向けた新型コロナウイルスの影響を乗り越えるために前向きな投資を行う事業者向けに「甲斐市版ものづくり補助金」の創設の検討を希望する。

・工業系事業者のビジネスマッチングについて

工業系小規模事業者は高度な技術力を持ちながらも、取引先の開拓には苦心している。については、市内の大規模工業系事業者等とのマッチング機会が伺えるような環境を整えていただく事を希望する。

・開催方法について

会議を書面開催ではなく、オンラインで行うことも検討してほしい。

事務局より

貴重なご意見ありがとうございました。今後の支援策の参考にさせていただきます。

また、会議の開催方法については、委員の皆様の通信環境やご希望等をお聞きし、オンラインでの開催も検討いたします。